

特別展

「見世物大博覧会」  
本展では、江戸から明治時代にかけて大いに流行し、現代に至るまで命脈を保ってきた見世物の世界を、絵看板、錦絵、一式飾りや生人形(いきにんぎょう)など、さまざまな資料をおして紹介します。

会期 11月29日(火)まで  
会場 特別展示館

■関連イベント

「人間ポンプ 安田里美 浅草木馬亭公演」  
上映会  
日時 10月16日(日) 14時～16時  
(13時30分開場)  
会場 本館第5セミナー室(定員90名)(予定)  
司会 笹原亮二(本館教授)  
解説 鶴飼正樹(京都文教大学教授)  
※申込不要、参加無料、当日先着順

「伊勢大神楽の獅子舞と放下芸——伊勢大神楽講社による総舞」

日時 10月22日(土)13時30分～15時40分(予定)  
会場 本館前庭(雨天時エントランスホール)  
司会・解説 笹原亮二(本館教授)  
出演 伊勢大神楽講社(山本勘太夫社中)  
※申込不要、参加無料、当日先着順

展示イベント

「ハチユカル——アルメニアの十字架石碑をめぐる物語」  
本展では、ハチユカル(アルメニア石十字架

を展示の中心として、写真パネルと解説パネルにより、キリスト教を世界で初めて国教化したといわれるアルメニアの歴史と文化を紹介します。

会期 10月11日(火)まで  
会場 本館ナビひろば

■関連イベント

「ワークショップ「ハチユカル——拓本づくりでまなぶアルメニア十字架」」  
日時 10月9日(日)  
11時～12時(10時50分集合)  
13時30分～14時30分(13時20分集合)  
講師 ゲヴォルグ・オルベリアン (本館 外国人研究員)  
新免光比呂(本館 准教授)  
会場 本館ナビひろばなど  
対象 子どもから大人まで(6歳未満の方は保護者同伴でご参加ください)  
※要事前申込(先着順/各回定員8名、参加無料(要展示観覧券))

台湾文化光点計画 上映会・シンポジウム

「民族誌映画にみる文化への視点——台湾、日本、ノルウェー、エチオピアの作品より」  
上映会：台湾原住民や各国のマイノリティの文化変容をテーマにした民族誌映画の上映を行います。  
シンポジウム：映画制作者による制作目的や映像アプローチの発表、討論を行います。  
日時 11月12日(土)、13日(日)  
10時30分～16時30分(予定)  
会場 本館講堂(定員450名)  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)、当日先着順

公開講演会

私たち人類はどこへ行くのか？  
「スイカで踊る、クジラを祭る——生き物と人 共生の風景」  
私たちが人類はどこへ行くのでしょうか。地球

温暖化や生物多様性の喪失など、世界的に環境問題が注目されています。生き物と人との新しい関係から人類社会の未来について考えます。

日時 11月10日(木)  
18時30分～20時40分(開場17時30分)  
会場 日経ホール(東京 定員600名)  
主催 国立民族学博物館・日本経済新聞社  
※要事前申込、参加無料、手話通訳あり  
お問い合わせ先  
研究協力係 06・6878・8209

国際シンポジウム

「中国における歴史の資源化——その現状と課題に関する人類学的分析」  
日時 10月22日(土)10時～17時30分  
会場 本館第4セミナー室(定員70名)  
※要事前申込、参加無料、先着順

カレッジシアター

「地球探究紀行」  
みんなく教員が執筆した臨川書店発行「フィードバック」選書を中心にお話しします。  
時間 13時～14時30分  
会場 あべのハルカス近鉄本店(スベイス9)  
※事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円(定員各回50名)  
共催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スベイス9特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

身体でみる異文化

目に見えないアメリカを描く  
講師 広瀬浩二郎(本館 准教授)  
10月26日(水)  
アンデスの文化遺産を活かす  
考古学者と盗掘者の対話  
講師 関雄二(本館 教授)  
お申込み・お問い合わせ先  
ウエブ産経カレッジシアター係  
06・6633・9087

●インフォレストすいたでみんなくフェア開催  
エキスポシティのインフォレストすいたで10月31日(月)まで、みんなくフェアを開催いたします。ミニ展示や楽器の体験、参加型のプレゼント企画などを実施します。

●11月1日から7日は「教育・文化週間」

教育・文化週間は教育や文化への関心と理解を深め、充実・振興を図ることを目的として設けられ、今年で58回目を迎えます。この機会に、全国で開催される様々な行事に足を運んでみてはいかがでしょうか。  
教育・文化週間ウェブサイト(文部科学省ホームページ)  
http://www.mext.go.jp/a\_menu/shougai/kyoku-bunkai/

巡回展

「イメーজのカ——国立民族学博物館コレクションにさぐる」  
会期 10月8日(土)～11月27日(日)  
主催 香川県立ミュージアム  
国立民族学博物館  
千里文化財団

巡回展

「ワンロード——現代アポリジニアートの世界」  
会期 10月1日(土)～  
2017年1月9日(月・祝)  
主催 市原湖畔美術館(指定管理者 株式会社アートフロントギャラリー)  
会場 市原湖畔美術館  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

巡回展

「現代アポリジニアートの世界」  
会期 10月1日(土)～  
2017年1月9日(月・祝)  
主催 市原湖畔美術館(指定管理者 株式会社アートフロントギャラリー)  
会場 市原湖畔美術館  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)  
会場 本館講堂 定員 450名(当日先着順)  
参加費 無料(展示を覧になる方は展示観覧券が必要です)  
第461回10月15日(土)

言葉から文化を考える——「アラブ的思考様式」再考

講師 西尾哲夫(本館 教授)  
名著「風土」のなかで和辻哲郎はアラブ人を「服従的・戦闘的の二重の性格」をもった「砂漠的人間」と評していますが、このまなざしは日本人の中東世界観に依然として受けつがれています。アラブ遊牧民の日常的世界観を彼らの言葉を分析することで再考してみましよう。

みんなくウィークエンド・サロン

研究者と話をしよう  
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。

10月2日(日) 14時30分～15時 本館第5セミナー室

ベトナムの民族観光——マイチャウの白タイ族村落

10月9日(日) 14時30分～15時 本館第5セミナー室

魅せるモノ・魅せられるモノ

10月16日(日) 14時30分～15時15分 本館第3セミナー室

人間にとってカフェとは何か

10月23日(日) 14時30分～15時15分 本館ナビひろば

食からみる中国文化および世界とのつながり

10月30日(日) 14時30分～15時15分 中国地域の文化展示会場  
話者 韓敏(本館 教授)  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)  
ただし、2日(日)、9日(日)、16日(日)は参加無料(展示観覧券不要)

●みんなく無料シャトルバスのご案内

大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの中の直通無料送迎バスを特別展「見世物大博覧会」会期中に運行します。

運行日 11月27日(日)までの土曜・日曜・祝日  
1日11往復、所要時間10分  
運休日 11月3日(木 祝)、5日(土)、6日(日)  
※万博記念公園でイベント開催の場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

時	万博記念公園駅	→国立民族学博物館
10	06	36
11	06	36
12		46
13	16	46
14	26	56
15	26	56
16		
17		

  

時	国立民族学博物館	→万博記念公園駅
10		50
11	20	
12	30	
13	00	30
14	10	40
15	10	40
16	30	
17	00	

計報 加藤九祚名誉教授

本館の加藤九祚名誉教授(九四歳)がさる九月二日、調査地のウズベキスタンで逝去されました。一九七五年、当館教授に就任され、ユーラシア民族学研究において独自の領域を開拓し、「北・中央アジア民族誌の基本文献についての基礎調査」ほか、共同研究を組織し多くの成果をあげました。七十九年以降、第4研究部長として館長を補佐しつつ、さまざまな委員会の委員長として館の運営に貢献されました。貴重な標本資料やデータを集め、当館の中央北アジア展示の基礎を築き、展示リニューアル後もその業績は活かされています。八六年の退官後は考古学への関心から、ウズベキスタンでの発掘調査に尽力されました。七六年に大佛次郎賞を受賞した「天の蛇——ニコライ・ネフスキーの生涯」ほか、多数の著書、訳書があります。謹んでお悔やみ申し上げます。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)  
※当日先着順、会員証提示(会員外500円)

第460回 11月5日(土) 13時30分～14時40分

「現代中東地域研究推進事業拠点設置関連——エジプトにおける空手道の新地平」

講師 相島葉月(本館 准教授)  
中東地域を代表する空手大国、エジプト。競技人口は国内でサッカーに次いで二番目に多く、幅広い社会階層の人々が稽古に励んでいます。日本とは全く違った価値観から成り立っているように見えるエジプトにおいて、これほどまでに空手が受容されるのは何故なのでしょう。宗教や政治的な動向はかりが注目されがちな中東ですが、大衆文化にこそ彼らを知るヒントが隠されています。空手をおしてグローバル化するエジプト社会の動向をさぐります。

●講義終了後、講師を囲んで懇談会を実施します。

第88回民族学研修の旅

多民族国家ネパールの生活文化にふれる旅  
映像がつなぐ人びとを訪ねて  
2017年1月8日(日)～15日(日)、要事前申込

第74回体験セミナー

遠山霜月祭見学——神と人が集う夜  
訪問先・長野県飯田市

【東京】連続講座

「素顔の地球に出会う」  
人類学者たちのフィールドワーク  
会場 モンベル渋谷店5F(サロ)

時間 各回ともに13時30分～15時30分  
※要事前申込、会員証提示(会員外1000円)

11月12日(土)  
シベリアで生命の暖かさを感じる  
講師 佐々木史郎(国立アイヌ民族博物館設立準備室 主幹)

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp